

日常行動・状況理解に基づく知識共有システムの研究開発

民間基盤技術研究促進制度平成16年度新規提案

受託者	(株)国際電気通信基礎技術研究所
研究開発期間	H16年9月～H21年3月(4年7ヶ月)
研究代表者名	小暮 潔
概要	<p>医療看護、警察、消防など人の経験が要求される業務において、これまで見過ごされてきた業務中の日常行動・状況を自動的に理解し、そこから業務に有用な知識を構築し、さらに知識を関係者に提供するシステムの研究である。小型装着型のセンサや環境設置型センサにより業務における行動や状況のデータを取得し、それを解析することにより自動的に知識の構築を行う。</p> <p>この研究により、これまでに見過ごされてきた業務の流れの傾向や事故の要因などの自動抽出が可能となり、さまざまな分野における業務の改善に役立てることができる。また、題材としては、このようなシステムへのニーズが高い医療看護現場等を取り上げ、実証的な実験を行い、将来の事業化へ向けた道筋をつける。</p> <p>【サブテーマ】 行動・状況理解技術の研究開発 知識構築技術の研究開発 知識提供技術の研究開発</p>

